

27G-pm15

化学選択的グリコシル化反応を基盤とするシアリルルイス X 及びその誘導体の合成研究

○鈴木 規敏¹, 在原 僚一¹, 中村 精一¹, 橋本 俊一¹(¹北大院薬)

【目的】我々は既に、ジフェニルホスファートやホスホロジアミダート糖供与体がシリルエーテルと反応するのに対して対応するジエチルホスファイトは反応しないことに着目し、新たな糖鎖合成戦略を開発している。そこで、本合成戦略を用いてシアリルルイス X (sLe^x) 関連オリゴ糖鎖の合成を行う。

【方法・結果】糖受容体 **1** に対し Cu(OTf)₂ 存在下、ホスファイト **2** を作用させたところ、グリコシル化反応はアルコール部で化学選択的に進行した。得られた TBS エーテルをホスホロジアミダート **3** でグリコシル化することにより、ルイス X 骨格を持つ三糖 **4** を二工程で構築できた。現在、sLe^x、sLe^x ガングリオシドの合成を行っているので併せて報告する予定である。

